

～本格的な出水期に備え防災体制を確認～ 5月14日 洪水対応演習 を実施します

国土交通省東北地方整備局では、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊などの重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しております。

近年、東北地方においても令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨、令和4年7～8月の大雨、令和6年7月の大雨のような異常気象の激甚化・頻発化によって、各地で水災害が多数発生しています。

本演習では、地域の適切な防災活動につなげて頂くため、関係機関と連携して出水時の洪水予報、水防警報、ダム放流警報等の迅速かつ的確な伝達を行うとともに、堤防決壊等の被災箇所の緊急復旧着手から完了までの情報伝達の確認を行うなど、実践的な演習を行います。

◆ 実施日時

令和7年5月14日（水）9時00分～17時00分

※ただし、当日の洪水や地震の発生等により中止となる場合があります。

※ダム関係の訓練を、前日（13日）9時30分～12時に実施します。

仙台管区气象台との合同会見訓練を、5月19日（月）に実施します。

◆ 演習会場

仙台合同庁舎B棟12階 災害対策室

◆ 参加機関

東北地方整備局、東北管内13河川担当事務所、3ダム統合管理事務所、7ダム管理所、3ダム工事事務所の他、関係機関として東北6県、53市町村、仙台管区气象台及び各地方气象台

◆ 演習内容

- ①洪水予報、水防警報指定河川の水位等情報伝達
- ②整備局と事務所間の被災状況等のホットライン（電話）、WEB会議による情報伝達
- ③河川巡視点検及び報告
- ④県、市町村等の関係機関との情報提供・共有
- ⑤堤防決壊等被災箇所の緊急復旧計画、工法の検討 など

◆ 取材について

- ・②のWEB会議による情報伝達（14日（水）10時30分～10時45分頃を予定）について取材することができます。

14日（水）10時20分までに、仙台合同庁舎B棟12階第4会議室へお集まり下さい。（別紙参照）

- ・取材に当たっては担当者が誘導いたします。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会>

<問合せ先>国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 (TEL: 022-225-2171) (代表)

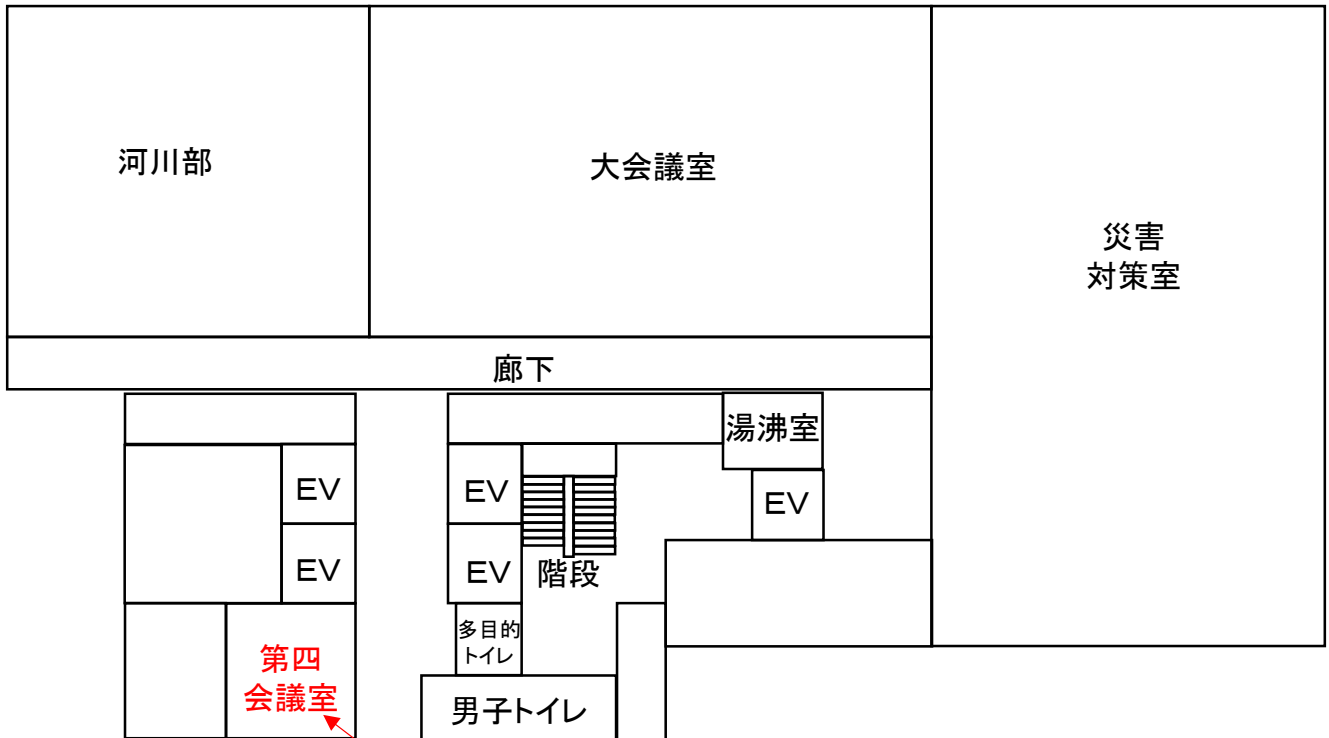
河川部 水災害予報センター長 さとう 佐藤 かつひこ 克彦 (内線 3851)

水災害対策専門官 せき 関 ひろあき 浩明 (内線 3852)



東北地方整備局
〒980-8602
仙台市青葉区本町3-3-1
仙台合同庁舎B棟

仙台合同庁舎 B棟 12階フロア



10:20までに第四会議室
にお集まりください